

蔵衛門Pad KP-03FJ

ファーストガイド



必ずお読みください。

- 端末を初期化しないでください。
- 端末の設定（Wi-Fi設定を除くAndroid端末本体の設定）を変更しないでください。
- SDカードやSIMカードを挿入しないでください。
- 他のアプリケーションをインストールしないでください。

※上記を行った場合、動作保障外となる可能性があり、サポートサービスの対象外となります。

目次

当ファーストガイドでは、蔵衛門Padの基本的な操作方法についてご案内します。ご不明点がございましたら、お気軽にサポート窓口「くらえもん☆オンライン」(p.44)までご連絡ください。

01 はじめに

蔵衛門Padを使った業務の流れ	04
付属品の確認	05
蔵衛門コネクタについて	06
蔵衛門コネクタの準備	07
蔵衛門Padの電源の入れ方	08
蔵衛門Padの準備	09
【基本編】トップ画面の説明	10
【基本編】メニュー画面の説明	11
【基本編】設定画面の説明	12

02 黒板を書く

蔵衛門Padで黒板を書く	13
手書きキーボードで文字を入力する	14
蔵衛門Padで豆図を描く	15
【応用編】蔵衛門Padで豆図を登録する	16
【応用編】蔵衛門Padで登録した豆図を開く	17
黒板テンプレートを変更する	18
【応用編】黒板テンプレートをダウンロードする①～②	19～20
【応用編】パソコンで黒板を登録する①～③	21～23
【応用編】パソコンで黒板に豆図を登録する	24
【応用編】パソコンで黒板に豆図を一括登録する	25
工事を変更する	26

03 写真を撮る

写真を撮影し、保存する	27
【応用編】撮影機能を活用する	28
撮影した写真を確認する	29

目次

当ファーストガイドでは、蔵衛門Padの基本的な操作方法についてご案内します。ご不明点がございましたら、お気軽にサポート窓口「くらえもん☆オンライン」(p.44)までご連絡ください。

04 蔵衛門御用達で台帳を作る

台帳連携の仕組み	30
工事写真台帳を作成する①～②	31～32

05 蔵衛門クラウドで台帳を作る

蔵衛門クラウドについて	33
台帳を作成する	34
台帳をみる	35
台帳を共有する	36
パソコンでみる	37
ダウンロードする	38
Kuraemon Card(くらえもんカード) を利用する	39～40

06 図面を見る

図面 (PDF) を取り込む①～②	41～42
図面 (PDF) を見る	43

ご案内

操作方法が分からないときは	44
---------------------	----

『葺衛門Pad』を使った業務の流れ

『葺衛門Pad』は、黒板とカメラがひとつになった電子黒板です。これまでと同じ工事写真業務でありながら、様々な工程が劇的に省力化されます。

1 黒板を作る

- 工事情報を黒板に入力
- 豆図を黒板に挿入
- 複数の黒板を一括登録



2 写真を撮る

- 黒板の選択
- 黒板の編集
- 黒板つき写真を撮影
- 撮影した写真を確認



3 台帳を作る

- 工事写真台帳を作成
- 台帳へ写真と工事情報を一括保存



4 台帳を印刷

- 葺衛門御用達で印刷
- 葺衛門クラウドでPDF作成



付属品の確認

パッケージ内容をご確認ください。万が一、不足しているものがありましたら、くらえもん☆オンライン (p.44) までご連絡ください。

- 蔵衛門Pad本体
- ACアダプタ
- microUSBケーブル
- はじめにお読みください
- 保証書
- 蔵衛門Pad USBキャップ挿入方法と注意事項について
- 蔵衛門Pad使用許諾書・蔵衛門クラウド利用規約
- はじめに添付品を確認してください
- ARROWSシリーズAndroid™OSサポート書
- 取扱説明書 ※蔵衛門Padのガイドではありません。
- 工事用電子黒板 オーダーメイドサービス

蔵衛門御用達との連携について

蔵衛門Pad から工事写真台帳を作成するには、『蔵衛門御用達プロ』または『蔵衛門御用達スタンダード』が必要です。14以下のバージョンでは、お使いいただけません。蔵衛門御用達15・16・17をお持ちでない場合は、「工事写真.com」から30日間無料で使える“体験版”をご利用ください。

体験版のダウンロードは、下記アドレスです。

<http://www.koujishashin.com/download/trial/>



葺衛門コネク特について

『葺衛門コネク特』は『葺衛門Pad』と『葺衛門御用達』をつなぐ無料ソフトです。電子納品をする場合やオンライン台帳作成サービス『葺衛門クラウド』を利用しない場合はこのソフトが必要となります。

葺衛門御用達



葺衛門コネク特



葺衛門Pad



1 黒板の作成

- ・ 工事情報を黒板に入力
- ・ 豆図を黒板に挿入
- ・ 複数の黒板を一括登録

2 写真を撮影

- ・ 黒板の選択
- ・ 黒板の編集
- ・ 黒板つき写真を撮影
- ・ 撮影した写真を確認

4 台帳の編集

- ・ 台帳を編集
- ・ 台帳を印刷

3 台帳の作成

- ・ 台帳に写真を保存
- ・ 台帳へ工事情報を保存

葦衛門コネクットの準備

『葦衛門御用達』の台帳と連携するための専用ソフト『葦衛門コネクット』をパソコンにインストールする方法です。無料でダウンロードすることができます。

1 『葦衛門コネクット』のインストールプログラムを専用ページからダウンロードします。インターネットに接続して下記URLにアクセスしてください。

<http://www.kuraemon.com/download/connect/FJ/>



2 ダウンロードページへアクセスしたら、『KuraemonConnect.exe』を実行して、画面の案内に従いながら、ソフトをインストールをしてください。



3 インストールが完了すると、パソコンのデスクトップに『葦衛門コネクット』のアイコンが表示されます。アイコンをダブルクリックすると、ソフトが起動します。



葦衛門コネクットをアンインストールする方法

『葦衛門コネクット』をパソコンから削除するには、コントロールパネルから【プログラムと機能】を開きます。プログラムの一覧から『葦衛門コネクット』を選択して、【アンインストール】を選択してください。



蔵衛門Padの電源の入れ方

『蔵衛門Pad』本体の電源の入れ方、ロックスクリーンの解除方法です。

- 1 電源ボタンは、本体の上部中央の側面にあります。長押しすると、『蔵衛門Pad』が起動します。



- 2 ロックスクリーンは鍵マークのボタンを横にスライドすることで解除されます。



蔵衛門Padの電源の切り方

- 電源が入っている状態で電源ボタンを長押し、メニューから「電源を切る」をタップすると『蔵衛門Pad』の電源が切れます。
- ※ロックスクリーン画面で電源を切ることはできません。ロックスクリーンを解除した後の画面で電源を切ってください。



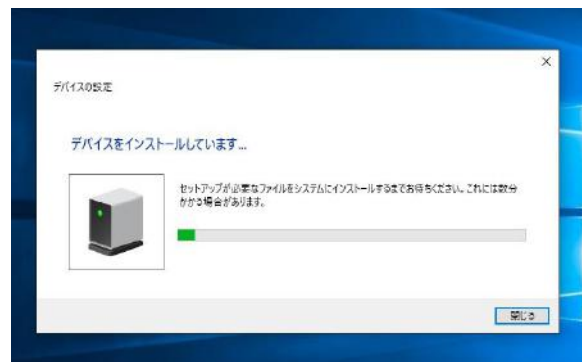
蔵衛門Padの準備

『蔵衛門Pad』を『蔵衛門コネク』に接続する準備をします。

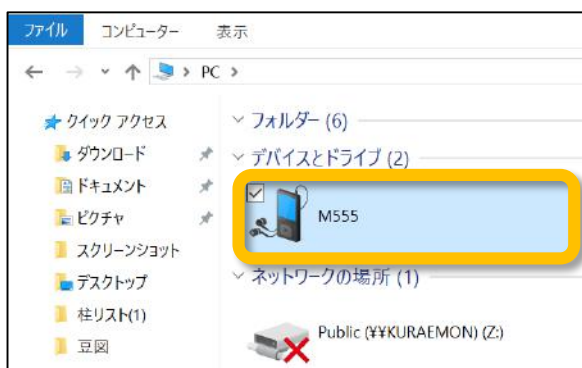
- 1 付属のmicroUSBケーブルで『蔵衛門Pad』とパソコンを接続します。



- 2 初回のみ『蔵衛門Pad』を認識するために、**ドライバ**のインストールが自動的に開始します。しばらくお待ちください。



- 3 ドライバのインストールが正しく終わると、エクスプローラに『M555』と表示されます。『蔵衛門Pad』が正常に接続されている状態を表しています。



必ずこの状態であることを確認してから、『蔵衛門コネク』を起動してください。

蔵衛門Pad が未接続だと・・・

『蔵衛門コネク』は、『蔵衛門Pad』が接続されていないとご利用いただけません。未接続の状態ですら起動した場合、右の図のようになります。『蔵衛門Pad』を接続して、【再接続】ボタンをクリックしてください。



【基本編】トップ画面の説明

トップ画面では、黒板と、撮影後の写真を見ることができます。

また、黒板の検索、新しい黒板の追加、蔵衛門クラウドで台帳の作成ができます。

メニュー画面を
開くことができます

蔵衛門クラウドをご利用の場合、
作成した写真・黒板を台帳に保存できます。

<階層表示機能>
第2項目ごとに
黒板がカテゴリー分けされています。

<検索機能>
文字入力によって
黒板を検索できます。



一番最後に使用した
黒板を追加できます。

撮影した写真を見る
ことができます。

黒板と写真を消去できます。
※復元不可ですので、ご注意ください。

【基本編】メニュー画面の説明

メニュー画面では、施工者名の入力や、図面の取り込み・工事の切り替えを行うことができます。

蔵衛門クラウドをご利用の場合、
ここから台帳を作成・閲覧することができます。

設計図など、取り込んだ図面 (PDF) を
閲覧できます。

黒板に表示される
施工者名を変更できます。

台帳を見る

図面を見る

工事を削除

工事の切り替え

設定

Wi-Fiの設定や、
バージョンの確認が
できます。

別の工事に
切り替えることが
できます。

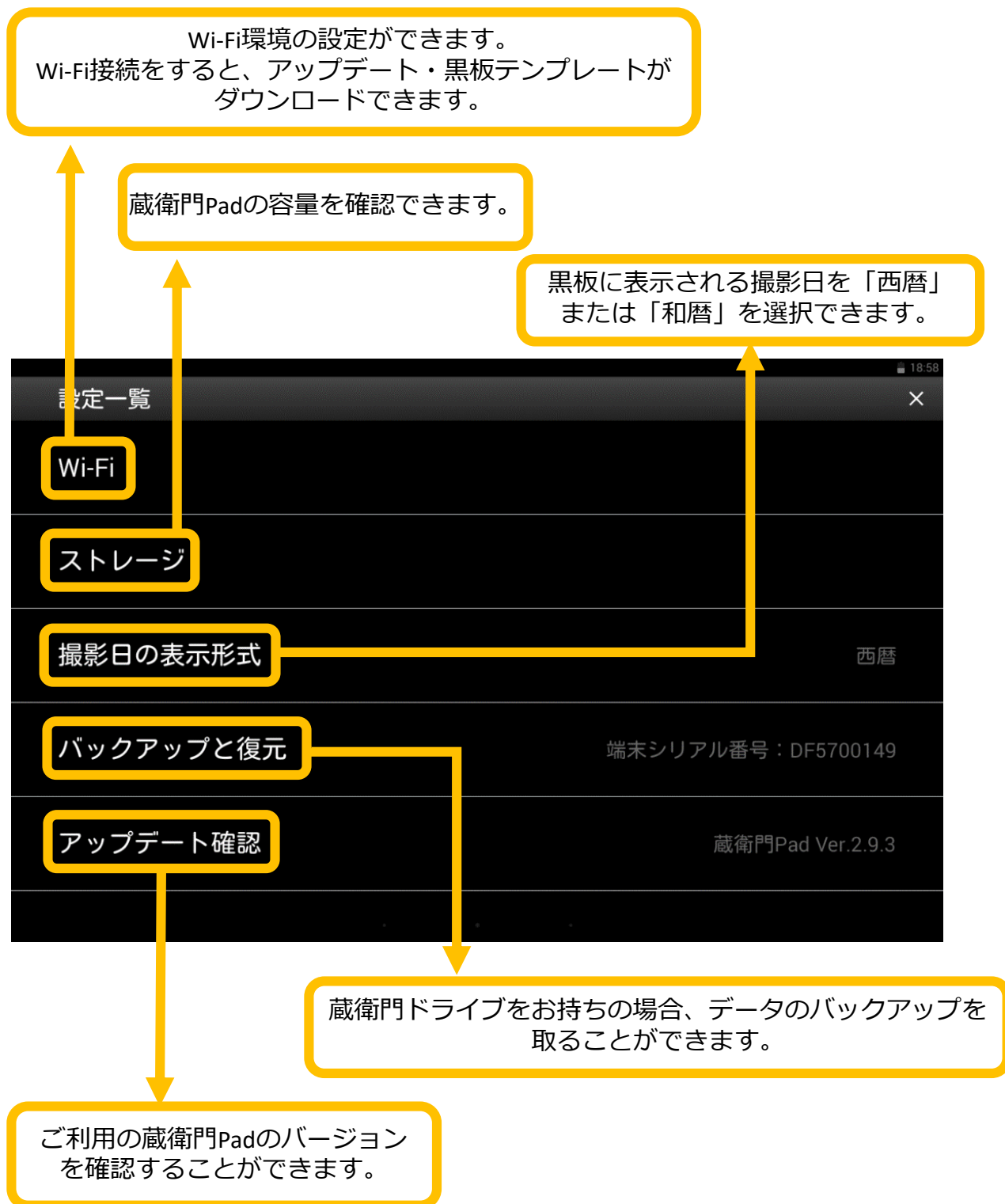
工事を丸ごと削除することができます。
※復元不可ですので、ご注意ください。

※工事件名は変更できないので、
変更したい場合は、
新しい工事を作成してください。

【基本編】設定画面の説明

設定画面では、Wifi設定や黒板の撮影日の表記の変更ができます。

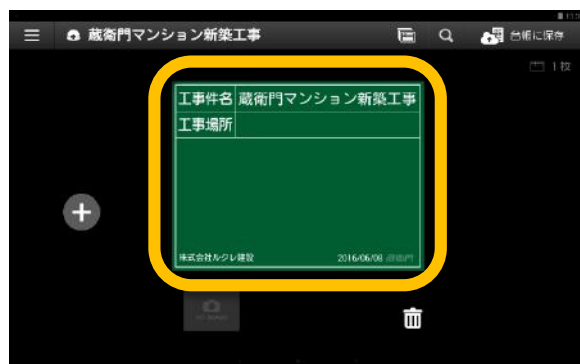
また、蔵衛門Padのバージョンや容量の確認もできます。



蔵衛門Padで黒板を書く

『蔵衛門Pad』で黒板の情報を編集することができます。また、新しい黒板の作成も行うことができます。


1 ホーム画面（黒板一覧）で、編集したい黒板をタップします。

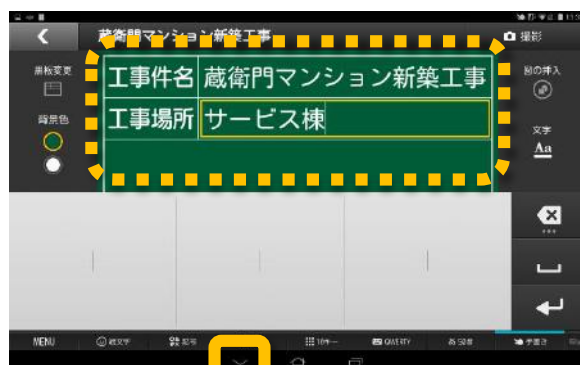


2 編集したい領域をタップすると、キーボードが表示されます。

キーボードの使い方については次ページをご参照ください。

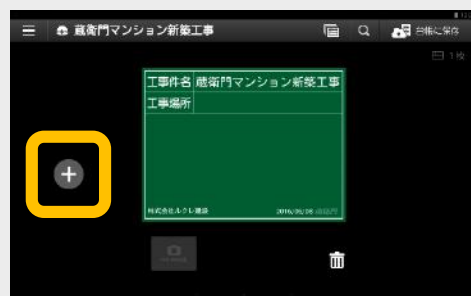


3 すべての文字・数字を入力したら、画面中央下の  ボタンをタップするか、画面上部のキーボード以外の部分をタップしてキーボードを閉じます。



新しい黒板を追加する

新しい黒板を追加する場合は、ホーム画面（黒板一覧）の左側にある (+) ボタンをタップします。右側の黒板の情報をコピーした黒板が作成されます。



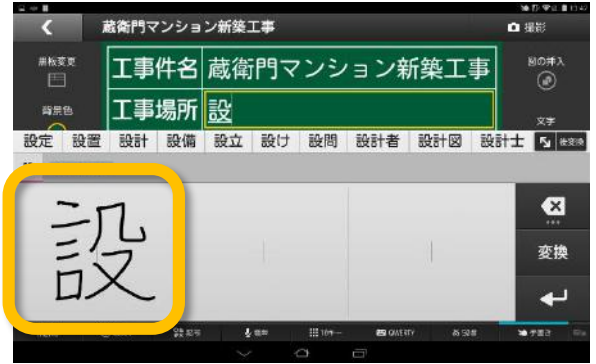
手書きキーボードで文字を入力する

手書きキーボードで文字を入力する方法です。

1

ひとマスにつき、ひと文字ずつ入力します。

※入力された文字の大きさは、自動で調整されます。



2

書いた文字の上に変換候補が表示されるので、タップすると黒板に反映されます。

ひらがなで入力しても、漢字の候補が表示されます。



3

文字を削除する場合は、右上の削除ボタンをタップします。



キーボードモードを変更する

アルファベットなどを続けて入力する場合は、キーボードのモードを変更すると便利です。

キーボード下の「QWERTY」をタップすると、キーボードが変更できます。

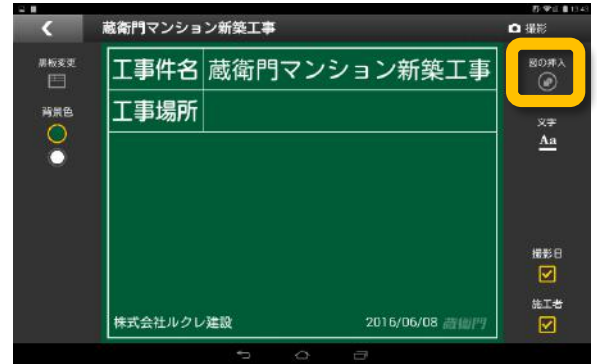
元に戻すには「手書き」をタップします。



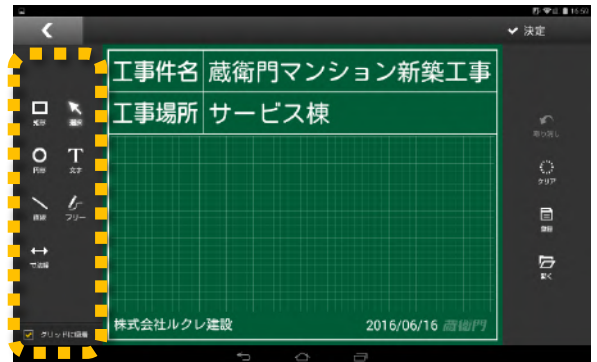
葺衛門Padで豆図を描く

『葺衛門Pad』で、豆図を描くことができます。

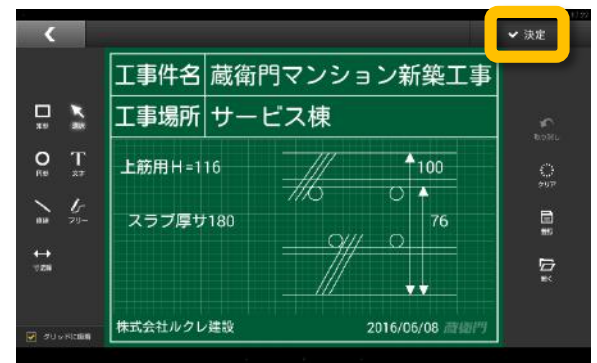
1 黒板編集画面の右上にある【図の挿入】をタップします。



2 図形や注釈を生成するツールが左側に表示されます。
ツールを選択し、黒板のグリッドが表示されている部分でタッチやスライドすることによって作成することができます。



3 編集が完了したら、右上の【決定】をタップして豆図を保存し、終了します。



豆図の書き方応用編

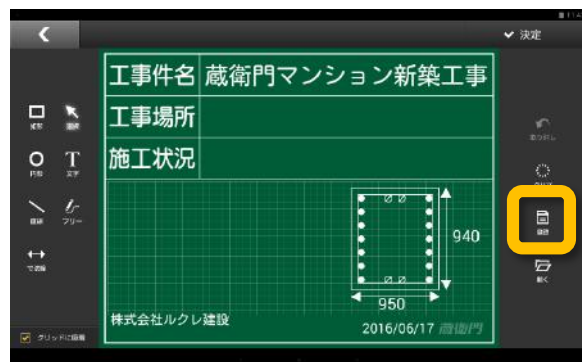
- 一度作成した豆図は、選択ツールで再編集できます (①)。
- 破線への変更や、図形の塗り潰しが可能です (②)。



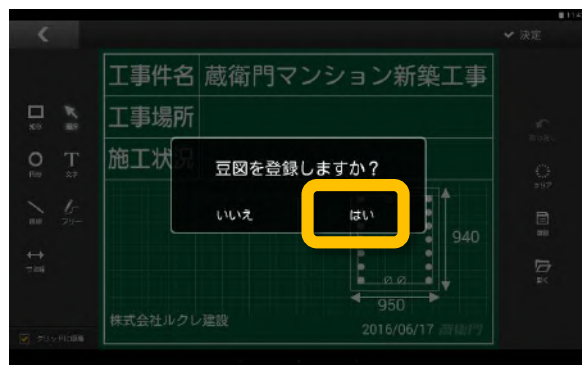
【応用編】葺衛門Padで豆図を登録する

『葺衛門Pad』で、描いた豆図を登録することができます。登録した豆図は、他の工事でも使用することができます。事前によく使用する豆図を描画し、登録しておくると便利です。

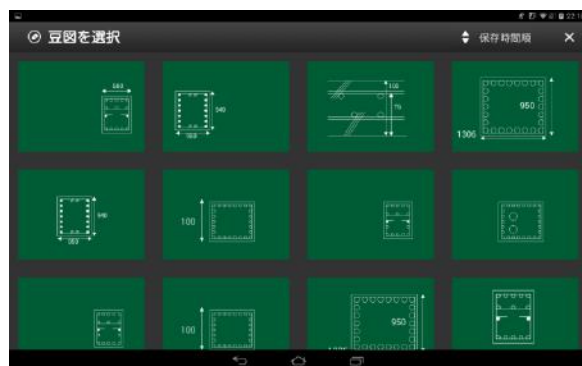
1 豆図の作成が完了したら、豆図描画面の【登録】をタップします。



2 【はい】をタップします。保存中が消えると豆図の登録が完了します。

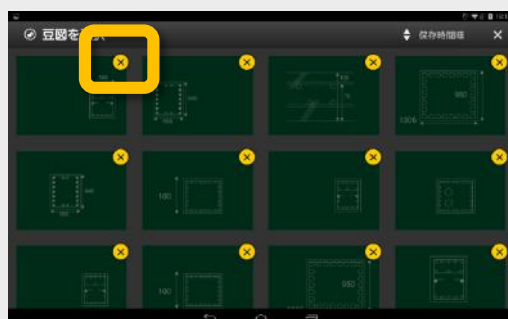


3 【開く】をタップすると、登録された豆図の一覧が表示されます。



登録した豆図を削除する

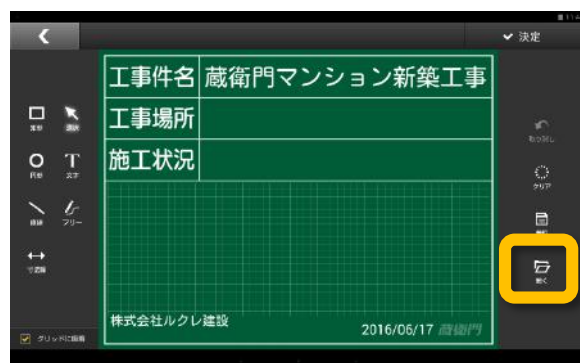
- いずれかの豆図を長押しすると右上に×ボタンが表示されます。
- ×ボタンをタップすると登録した豆図を一覧から削除することができます。



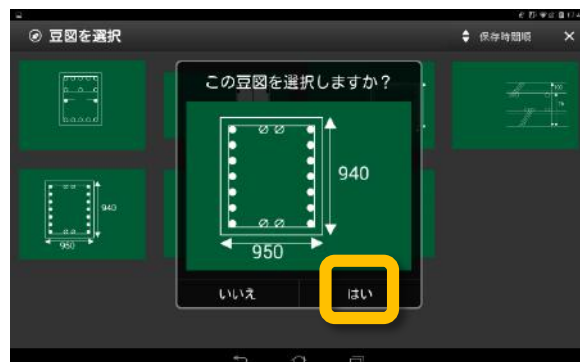
【応用編】 蔵衛門Padで登録した豆図を開く

『蔵衛門Pad』で、登録した豆図を開き、黒板に貼り付けることができます。

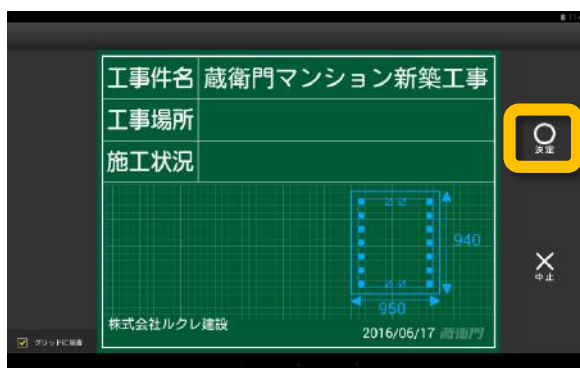
1 豆図描画面面の【開く】をタップします。



2 呼び出したい豆図を選択し、【はい】をタップします。



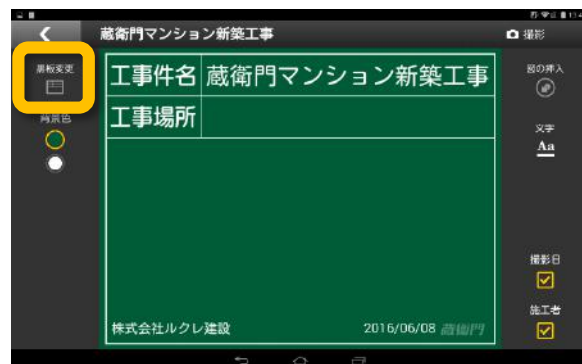
3 豆図を貼り付けたい位置に移動し、【決定】をタップします。



黒板テンプレートを変更する

葺衛門Padで黒板テンプレートを変更する方法です。

1 【黒板変更】をタップします。



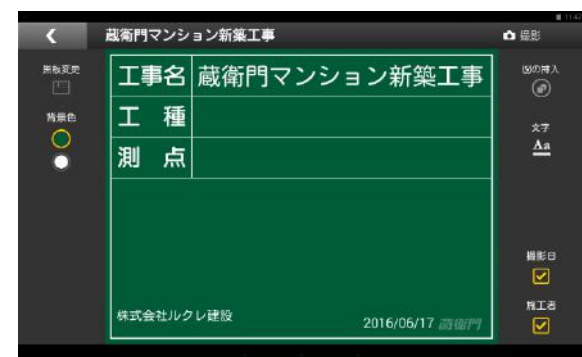
2 黒板テンプレートの一覧が表示されます。



3 変更したい黒板テンプレートを選択します。



4 黒板テンプレートが変更されました。

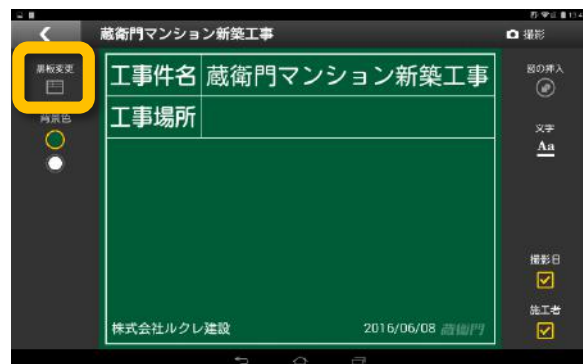


【応用編】黒板テンプレートをダウンロードする①

葎衛門Padで新しい黒板テンプレートをダウンロードすることができます。

※黒板テンプレートをダウンロードするにはWi-Fi接続が必要です。

1 【黒板変更】をタップします。



2 【黒板を追加】をタップします。



3 ダウンロードできる黒板テンプレートが表示されます。



4 ダウンロードしたい黒板を選択します。



【応用編】黒板テンプレートをダウンロードする②

葺衛門Padで新しい黒板テンプレートをダウンロードすることができます。

※黒板テンプレートをダウンロードするにはWi-Fi接続が必要です。

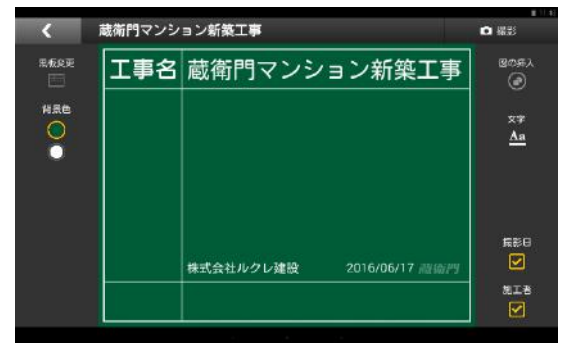
5 ダウンロードしたい黒板をすべて選択し、
【黒板をダウンロード】をタップします。



6 黒板テンプレートがダウンロードされました。



7 ダウンロードした黒板を選択し、
内容を編集します。



黒板テンプレートを削除する

- いずれかの黒板テンプレートを長押しすると右上にxボタンが表示されます。
- xボタンをタップすると登録した黒板を一覧から削除することができます。
- ※一度テンプレートを削除しても、再ダウンロードが可能です。



【応用編】パソコンで黒板を登録する①

『葺衛門コネクト』をつかって、複数の黒板を『葺衛門Pad』に一括で登録することができます。

- 1 付属のmicroUSBケーブルで『葺衛門Pad』とパソコンを接続してください。



- 2 『葺衛門コネクト』を起動します。スタート画面のメニューから【黒板の登録】を選択して、【次へ】をクリックします。

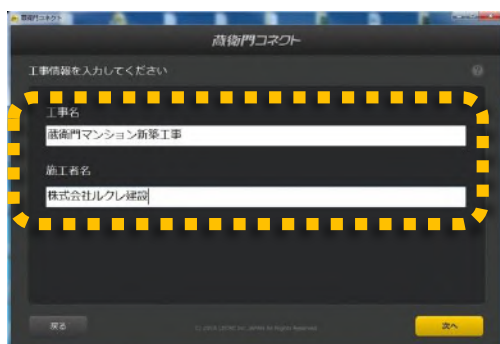


- 3 黒板を登録する工事を選択します。既に登録済みの工事または新しい工事を選択します。

ここでは【新しい工事に登録】を選択し、【次へ】をクリックします。



- 4 工事名、施工者名を入力し、【次へ】をクリックします。



【応用編】パソコンで黒板を登録する②

『葦衛門コネクト』をつかって、複数の黒板を『葦衛門Pad』に一括で登録することができます。

5 黒板のテンプレートを選びます。

右上の色をクリックすると、黒板の色を変更できます。



6 黒板情報を入力します。

列は黒板の項目、行は黒板一枚ずつを示します。
各セル（枠）をダブルクリックすると入力できます。



7 セルの枠を広げると、改行した文字も確認することができます (①)。 ※Ctrl+Enterで改行できます。

黒板の入力がすべて完了したら、画面右下の【次へ】をクリックします (②)。



8 確認ダイアログで【はい】をクリックすると葦衛門Padへ黒板情報が転送されます。



【応用編】パソコンで黒板を登録する③

『蔵衛門コネクト』をつかって、複数の黒板を『蔵衛門Pad』に一括で登録することができます。

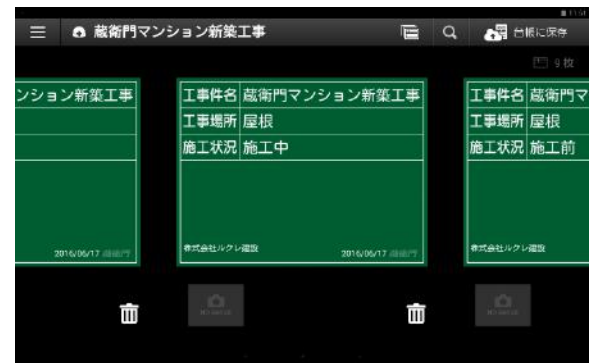
9 『蔵衛門Pad』のロックを解除。



10 『蔵衛門コネクト』に登録した黒板が、読み込まれます。

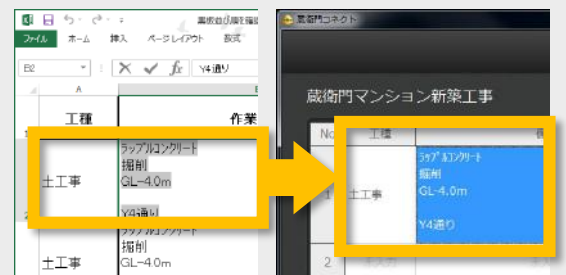


11 読み込みが完了したら、ホーム画面（黒板一覧）に『蔵衛門コネクト』で作成した黒板が表示されます。



エクセルから、らくらく一括登録

『蔵衛門コネクト』の工事情報入力画面は、エクセル連携しています。エクセルで工種や備考欄の情報を予め入力したら、コピー＆ペーストで『蔵衛門コネクト』に読み込むことができます。



【応用編】パソコンで黒板に豆図を登録する

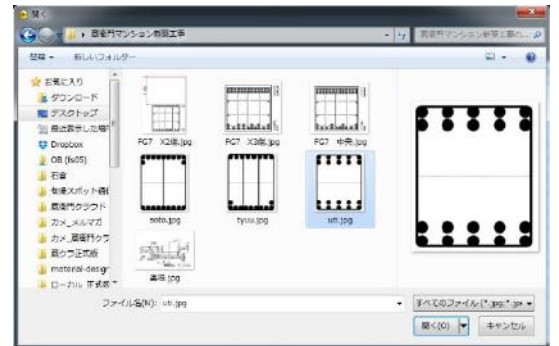
『蔵衛門コネクト』をつかって、登録する黒板に豆図（JPEG画像）を挿入することができます。

- 1 蔵衛門コネクトの黒板編集画面にある【豆図を追加】をクリックします。



- 2 あらかじめ用意されている豆図画像（JPEG）を選択して開きます。

※豆図画像はお客様自身でご用意いただく必要がございます。



- 3 画面右下の【次へ】をクリックすると豆図が挿入された状態で、『蔵衛門Pad』へ黒板が登録されます。



蔵衛門Padで豆図の位置を調整

『蔵衛門Pad』は、備考欄に挿入された豆図を移動、拡大縮小することができます。黒板編集画面の図の挿入から登録した豆図をタップすると、豆図の編集ができます。



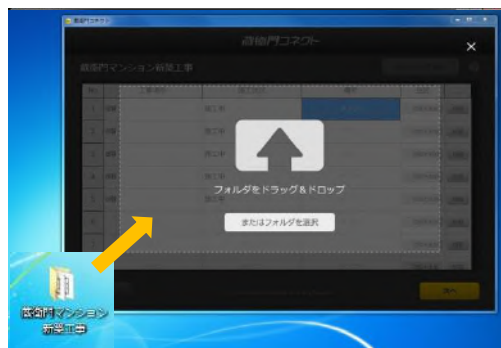
【応用編】パソコンで黒板に豆図を一括登録する

『蔵衛門コネクト』をつかって、登録する黒板に豆図（JPEG画像）をまとめて挿入することができます。

1 【豆図を一括登録】をクリックします。



2 追加したい豆図をフォルダごと、ドラッグ&ドロップします。



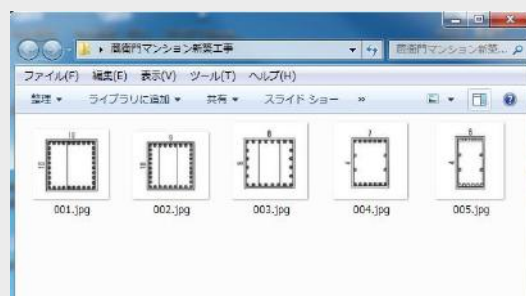
3 豆図の項目にファイル名が入ります。

画面右下の【次へ】をクリックすると、豆図が挿入された状態で『蔵衛門Pad』へ黒板が登録されます。



一括登録前の事前準備

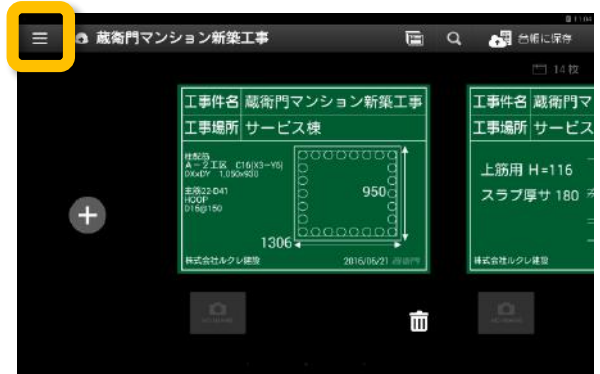
- 豆図は画像の名前順に登録されます。
- 事前に一括登録するフォルダ内の豆図の名前を変更しておくとスムーズに登録ができます。



工事を変更する

『蔵衛門Pad』では、工事案件を複数管理することができます。新しい工事を作成したり、複数の工事案件の切り替えが可能です。

1 別の工事の黒板に変更する場合は、メニューボタンをタップします。



2 【工事の切り替え】をタップします。



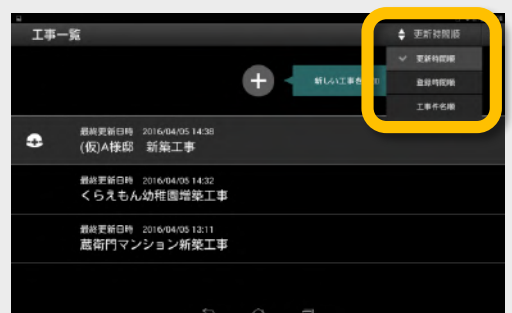
3 登録している工事の一覧が表示されます。変更したい工事をタップします。



※新しい工事を作る場合は、【新しい工事を追加】をタップし、作成することができます。

工事の並び替え

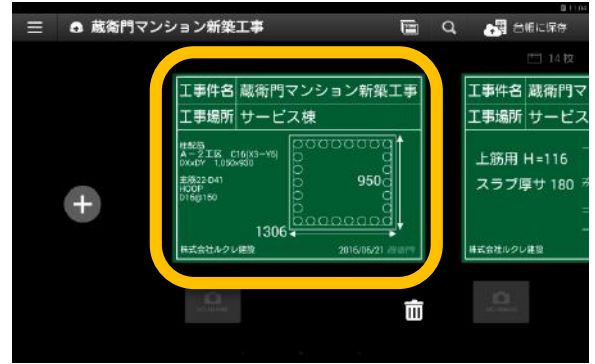
工事一覧画面で、既に登録のある工事は更新時間・登録時間・工事件名順のいずれかに並び替えることができます。



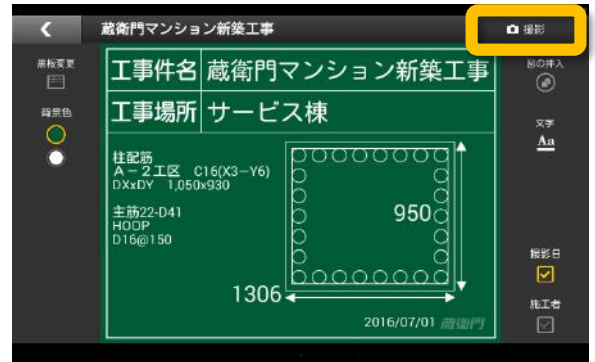
写真を撮影し、保存する

『蔵衛門Pad』で、工事写真を撮り、写真を保存する方法です。

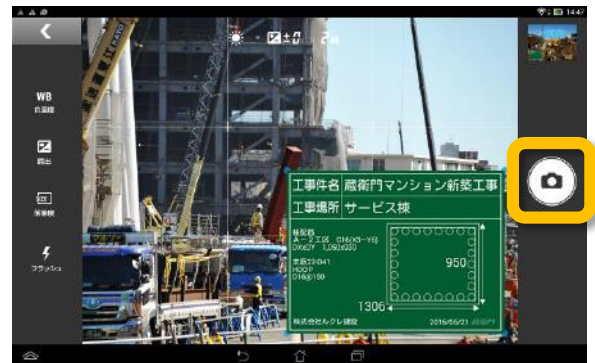
1 ホーム画面（黒板一覧）で、黒板を選択します。



2 黒板編集画面の撮影ボタンをタップします。



3 撮影画面が表示されます。右手中央にあるカメラボタンで撮影します。



4 保存ボタンをタップし、写真を保存します。



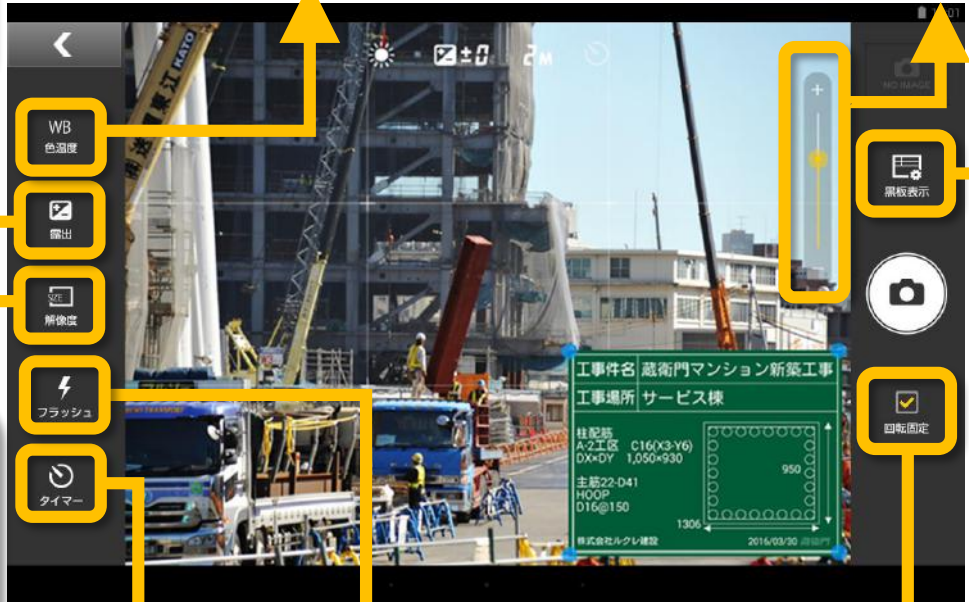
【応用編】撮影機能を活用する

『蔵衛門Pad』で、撮影機能を活用し、写真を撮影する方法です。

「+3」から「-3」の間で調整が可能です。

オート・白熱灯・昼光・蛍光灯・曇りから選択できます。

+ -の調整で、最大3倍までズームすることが可能です。



高画質 (8M)
CALSH高 (3M)
CALSM中 (2M)
CALSL低 (1M)
から選択できます。

2秒・10秒のセルフタイマーを設定
することができます。

環境に合わせ、オート・オン・
トーチ・オフの設定ができます。

端末を回転しても、
黒板が固定されます。

黒板の表示・非表示
を選択できます。

蔵衛門Padを縦にしたの撮影も可能です。

黒板が自動で回転します。
黒板の位置を調整し、撮影することが
できます。



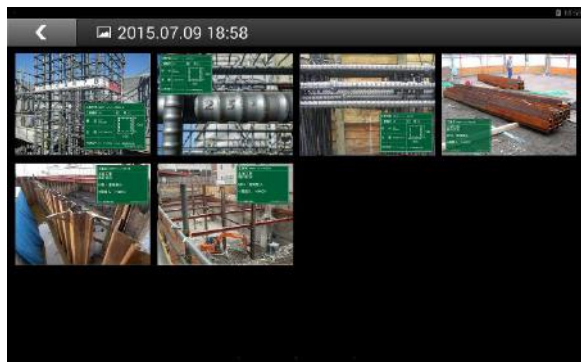
撮影した写真を確認する

撮影した写真は、黒板ごとに整理されます。

- 1 ホーム画面（黒板一覧）で、黒板の下の写真をタップします。



- 2 黒板ごとの写真が表示されます。



- 3 写真をタップすると、拡大して見ることができます。



台帳連携の仕組み

電子黒板である『蔵衛門Pad』は、黒板の情報に合わせて自動的に写真を整理して、台帳まで保存します。このページでは、黒板がどのように『蔵衛門御用達』の台帳に展開されるのかを図解します。

黒板の情報と台帳の関係

工事名は本棚になります。



備考欄に入力された文字は蔵衛門御用達の文章欄に反映されます。

(仕分け方法が標準の場合)
第二項目ごとに台帳が作成されます。

工事写真台帳を作成する①

『蔵衛門御用達』へ工事写真と黑板情報を保存します。

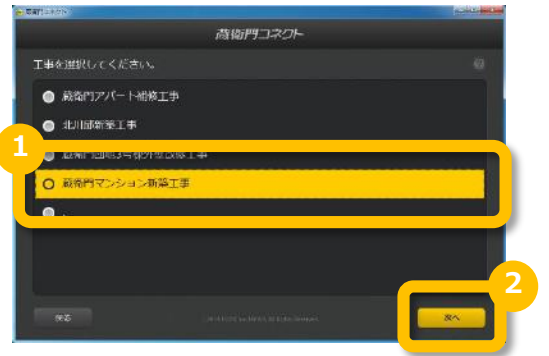
1 『蔵衛門Pad』をパソコンに接続していることを確認してから、『蔵衛門コネクト』を起動します。

画面のメニューから【台帳を作成する】を選択して【次へ】をクリックします。



2 『蔵衛門Pad』で管理されている工事件名が一覧で表示されます。

対象となる工事を選択して【次へ】をクリックします。



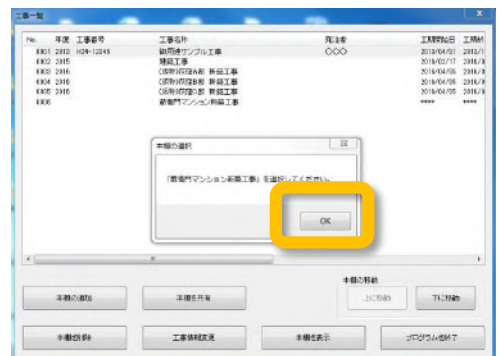
3 『蔵衛門御用達』で工事写真台帳を作る際、第二項目名ごとに作成する場合は【標準】さらに細かく台帳を仕分ける場合は【カスタム】を選択します。

選択したら、【次へ】をクリックします。



4 『蔵衛門御用達』が起動した後、先の画面で選択した工事件名の本棚を選択する案内が表示されます。

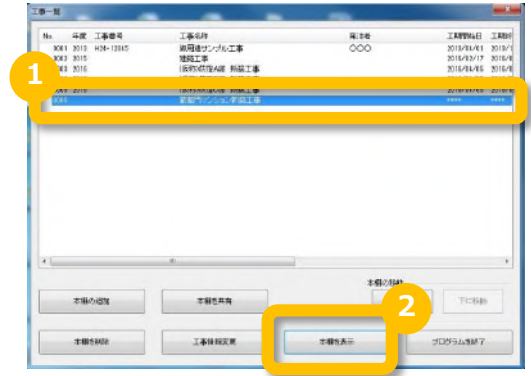
案内を確認したら、【OK】をクリックします。



工事写真台帳を作成する②

『蔵衛門御用達』へ工事写真と黑板报情報を保存します。

5 『蔵衛門御用達』の工事一覧から、写真を保存したい工事名称をクリック。次に、画面下部の【本棚を表示】ボタンをクリックします。



6 表示された本棚の手前に新しい工事写真台帳が表示されます。



7 『蔵衛門Pad』で撮影した写真と黑板报の工事情報が、台帳の見開きに保存されます。同じ工種や工事場所であれば、同じ台帳に追加で保存されます。



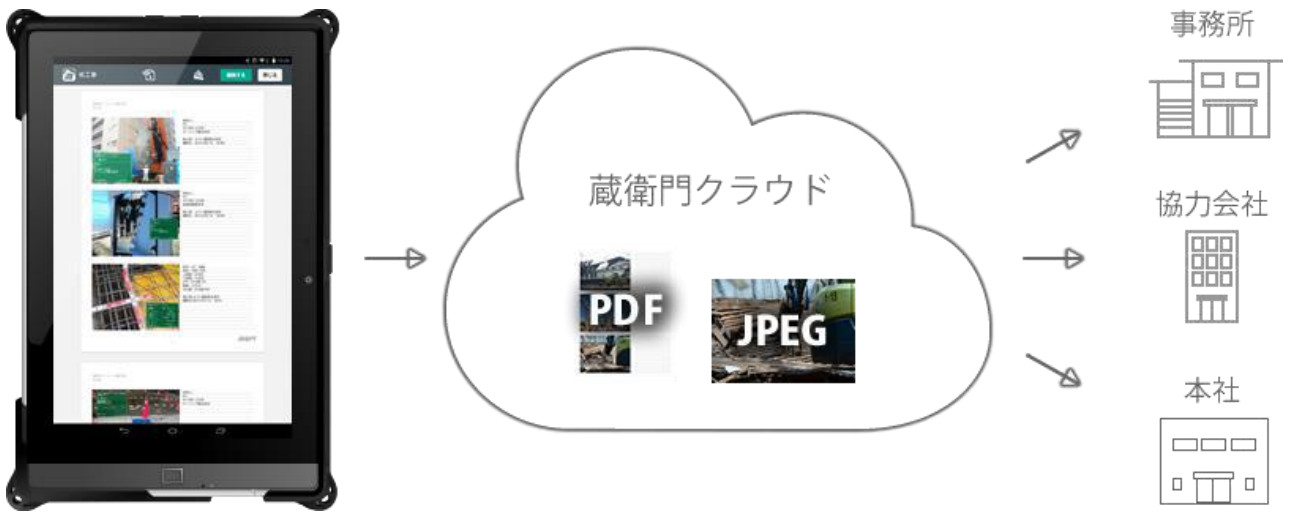
完了した工事の写真を削除する

『蔵衛門Pad』で保管している写真は、工事案件単位で写真を削除することができます。メニューの中の【工事を削除】をタップすると、工事が削除されます。



蔵衛門クラウドについて

『蔵衛門クラウド』は、オンライン台帳作成サービスです。現場事務所に帰ることなく、いつでもどこでも、台帳をつくることができます。



蔵衛門クラウドを無料体験

蔵衛門クラウドは、7日間無料で体験できます。期間内は写真のアップロードや編集そして共有機能を体験することができます。クライアントへ提出する台帳のレイアウトや画像データを確認するのにご利用ください。体験期間が終了すると、データは自動的に削除されます。期間中に、蔵衛門カード「KuraemonCard」にあるコードを入力して正規版として継続利用してください。

	体験版	正規版
台帳の観覧	○	○
台帳の編集 (文字入力・写真の並び替え)	○	○
台帳の共有 (PDF・オリジナルJPEGファイル)	○	○
台帳の保管期間	7日間	10日、30日～

蔵衛門カード Kuraemon Cardのご案内

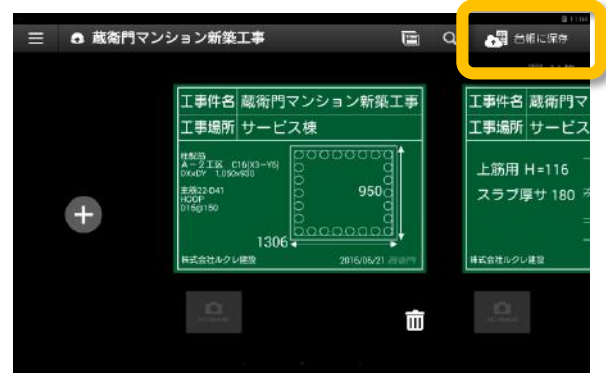
蔵衛門カードは、蔵衛門クラウドを正規に利用できるコードを記載しているカードです。“くらえもん☆オンライン”で有料で販売され、ゴールド、シルバーの2種類あります。



蔵衛門クラウドで台帳を作成する

『蔵衛門クラウド』で台帳を作成します。体験版の試用期間は7日間です。

1 ホーム画面（黑板一覧）の右上にある【台帳に保存】ボタンをタップします。



2 【はい】をタップします。



3 枚数を確認し、【はい】をタップすると、アップロードがはじまります。



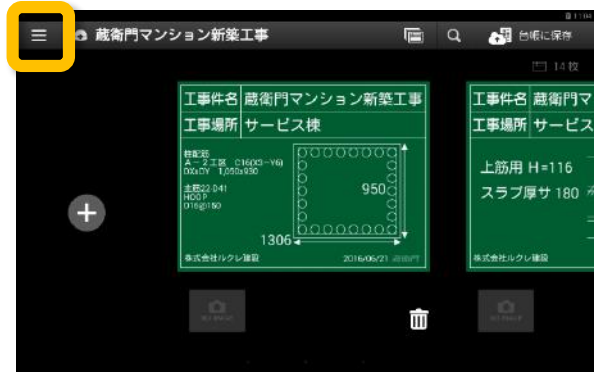
4 蔵衛門クラウドに遷移し、台帳が作成されます。



蔵衛門クラウドで台帳をみる

『蔵衛門クラウド』で台帳を確認します。

1 メニューボタンをタップします。



2 【台帳を見る】をタップします。



3 蔵衛門クラウドに遷移し、台帳をみることができます。



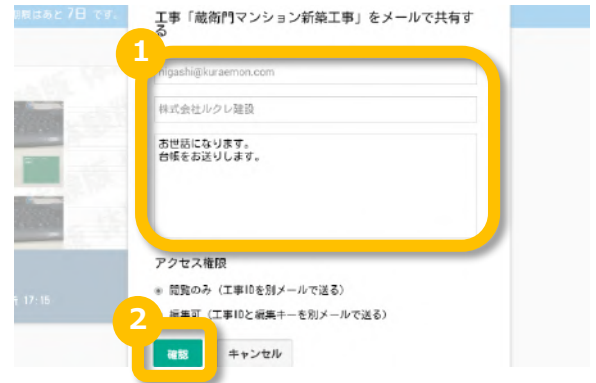
蔵衛門クラウドで台帳を共有する

『蔵衛門クラウド』の台帳はすぐに共有することができます。共有相手のメールアドレスが必要です。

1 台帳一覧の【メールで共有】ボタンをタップします。



2 メールアドレスとメッセージを入力します。送り先の相手の閲覧権限を選択し、【確認】をクリックします。



3 相手先に届くメールの内容を確認できます。【この内容で送信する】をクリックすると、メールが送られます。



台帳が共有されたとき

蔵衛門クラウドから2通メールが届きます。1通目に記載しているURLで、右の図のようなログイン画面に遷移します。



蔵衛門クラウドの台帳をパソコンでみる

『蔵衛門クラウド』で作成した台帳は、パソコンやタブレット、スマートフォンなど様々な端末で閲覧することができます。

1 蔵衛門Pad以外の端末で台帳をみるには、工事IDと編集キーが必要です。工事IDは工事ごとに自動発行されます。台帳一覧の、【工事IDを確認する】をタップすると確認することができます。



2 パソコンで以下のURLにアクセスします。

<https://secure.kuraemon.net/>

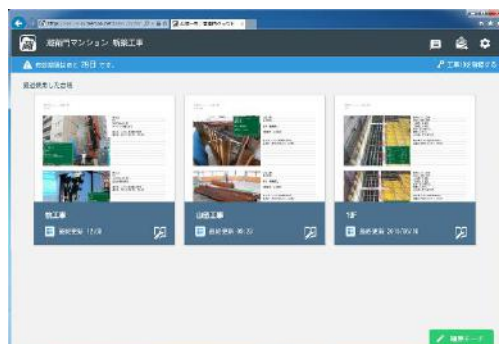


3 工事IDと編集キーを入力してログインします。

※工事IDは台帳をみるための鍵となります。管理には十分ご注意ください。




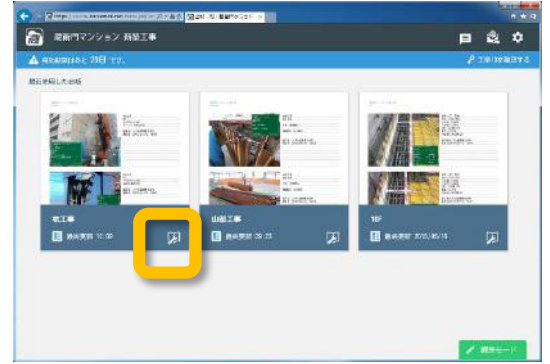
4 蔵衛門Padと同じ工事の台帳一覧をみることができます。



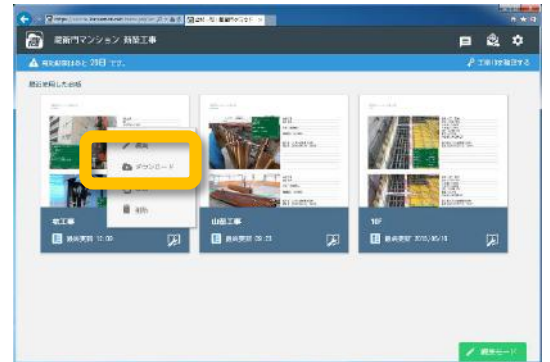
台帳をダウンロードする

『蔵衛門クラウド』で作成した台帳をダウンロードすることができます。台帳（PDF）とExif情報付きの写真データ（JPEG）と表紙データ（PDF）からお選びいただけます。

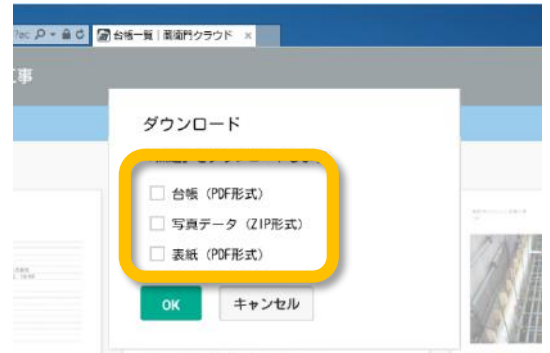
1 台帳一覧のメニュー  をクリックします。



2 ダウンロード  ダウンロード を選択します。



3 ダウンロードしたい内容にチェックを入れます。



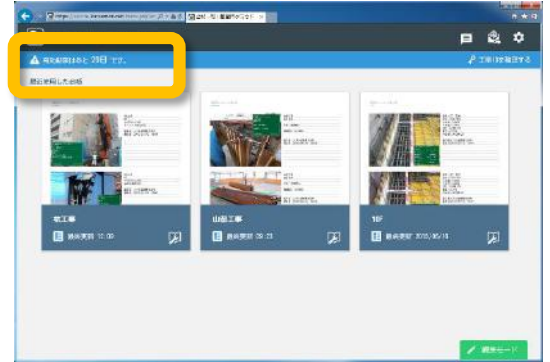
4 【OK】をクリックすると、ダウンロードが開始します。



Kuraemon Card（くらえもんカード）を利用する

『蔵衛門クラウド』を正規利用または利用期間を延長するには、『Kuraemon Card（くらえもんカード）』が必要です。

1 蔵衛門Pad上で蔵衛門クラウドを開き、有効期限をタップします。



2 【コードを入力して延長する】をタップします。



3 【QRコードを読み込んで入力する】をタップします。



4 QRコード画面が起動します。カメラの【許可】をタップしてください。



Kuraemon Card（くらえもんカード）を利用する

『蔵衛門クラウド』を正規利用または利用期間を延長するには、『Kuraemon Card（くらえもんカード）』が必要です。

5 カメラが起動するので、蔵衛門カードのQRコードをかざしてください。



6 コードが読み込まれると、コードが入力されている画面に遷移します。
【OK】をタップします。



7 延長されました。



蔵衛門Padに図面（PDF）を取り込む①

蔵衛門コネクト（Ver2.2.0.0以上）で、PDFファイルを蔵衛門Pad（Ver2.6.0以上）に取り込むことができます。

1

蔵衛門コネクトを起動します。

※PDFファイル取り込み機能はVer2.2.0.0以降対応です。最新版の蔵衛門コネクトは、下記URLよりダウンロードすることができます。

<http://www.kuraemon.com/download/connect/FJ/>



2

【図面を入れる】を選択し、【次へ】をクリックします。



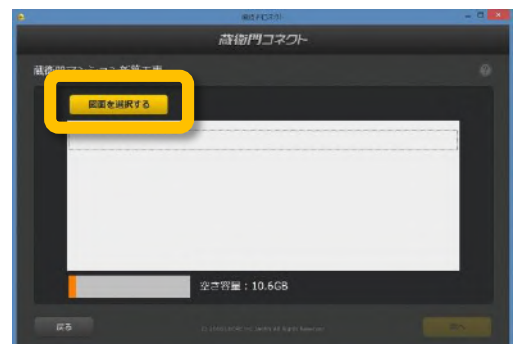
3

図面を登録する工事を選択します。既に登録済みの工事または新しい工事を選択します。



4

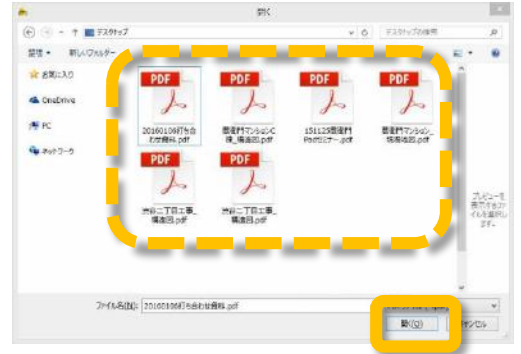
【図面を選択する】をクリックします。



蔵衛門Padに図面（PDF）を取り込む②

蔵衛門コネクト（Ver2.2.0.0以上）で、PDFファイルを蔵衛門Pad（Ver2.6.0以上）に取り込むことができます。

5 PDFファイルを選択します。



6 一度に複数のPDFファイルを取り込むことができます。

PDFファイルの選択が終わったら、**【次へ】**をクリックします。



7 容量の確認画面が表示されるので、**【はい】**をクリックします。



8 『蔵衛門Pad』への図面の取り込みが完了しました。



蔵衛門Padで図面（PDF）を見る

蔵衛門コネクト（Ver2.2.0.0以上）で、PDFファイルを蔵衛門Pad（Ver2.6.0以上）に取り込むことができます。

1 蔵衛門Padのメニューボタンをタップします。

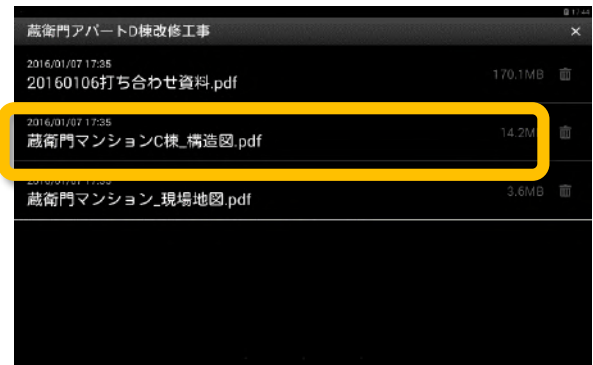


2 【図面を見る】をタップします。



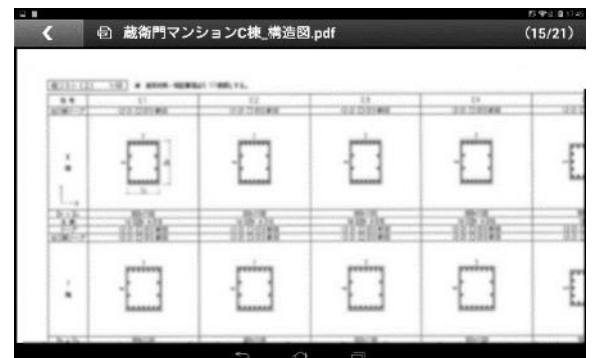
3 図面の一覧が表示されます。図面（PDFファイル）のファイル名をタップします。

※初回のみ、『PDFViewer』のインストールが必要です。画面にしたがって、インストールを行なってください。



4 図面が表示されます。

閲覧画面は、ピンチイン・ピンチアウトで拡大・縮小ができます。画面を左へスワイプすると、ページをめくることができます。



ご案内：操作方法が分からないときは

『蔵衛門Pad』『蔵衛門コネクト』『蔵衛門ドライブ』『蔵衛門クラウド』に関する
ご相談・ご質問については、下記へお問い合わせください。

くらえもん☆オンライン

電話番号 **☎ 03-5468-5253**

営業時間 9:00~18:30 (土日祝日を除く)

メールアドレス sales@lecre.jp

ホームページ <http://www.kuraemon.com/>

所在地 〒150-0002
東京都渋谷区渋谷2-12-19 東建インターナショナルビル 8F
株式会社ルクレ くらえもん☆オンライン